

10月16日(金)公開

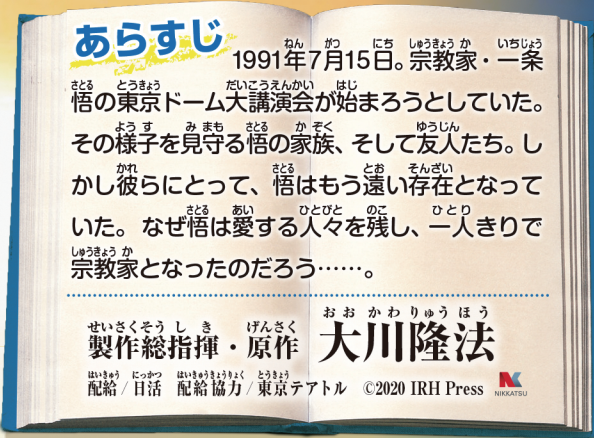


# 夜明けを信じて。は

## 一条悟の生き方に注目!

「生き方」がこどもかつこいキャラクターなんだ。  
どんな主人公なのか紹介するよ!

ナビゲーター 木場咲蘭 (6才)  
電車で悟に出会う少女の役で、本作に出演中。



**あらすじ** 1991年7月15日。宗教家・一条悟の東京ドーム大講演会が始まろうとしていた。その様子を見守る悟の家族、そして友人たち。しかし彼らにとって、悟はもう遠い存在となっていた。なぜ悟は愛する人々を残し、一人きりで宗教家となったのだろう……。

製作総指揮・原作 **大川隆法**  
配給/目話 配給協力/東京テアトル ©2020 IRH Press

**主人公** 一条悟  
順風満帆なエリート商社マンとしての人生を歩んでいたが、すべてを捨てて、「宗教家」となる。

**特殊な使命をもった主人公**



悟には「宗教家として全世界の人を導く」という、途方もない使命がある。だれよりも大きな責任を、一人で背負っている主人公なんだ。

**早くも海外で受賞!**

世界が注目している映画なんだね!

- スペイン **マドリッド国際映画祭** 長編外国語映画部門 **最優秀作品賞**
- イギリス **レインダンス映画祭** 特別上映作品
- アメリカ **サンディエゴ国際映画祭** 公式選出作品

**1 生き方ポイント** 世の中のために努力する

悟は子どものころから、「世の中の役に立ちたい。」という強い思いがあった。自分の中の真つすくな思いに従い、悟は人の3倍努力することをちかかって猛勉強する。

**3 生き方ポイント** 世界のためにすべてを捨てる

悟は使命を果たすため、自分の大切なものをすべて捨てる。苦しさを一人で受け止めながら、世界の人々のために生きることを選ぶんだ。

**2 生き方ポイント** 正しいとおもふことをつらめく

悟は、相手がたとえ自分よりえらい人でも、不正や悪を放っておくことができない。意見を言うことで自分が不利になることをおそれず、正義をつらめくんだ。

出演者に聞いてみた!

ARI Production 芸能事務所

せんげん よしこ **千眼 美子さん**

悟の同僚。立花美穂役。

しょうがくせいじだい シーンがオススメ☆

ARI Production 芸能事務所

たなか ひろあき **田中 宏明さん**

一条悟役。

じぶん 自分のすべてをかける「生き方」

私は、悟が志を立てて夢中に努力を重ねていくところを、みんなに見てほしいな。特に小学生時代のシーンで、悟がおそい時間に宿題以外の勉強をしているところは、「すごいな。かがやいているな。」って思いました。そんな悟の姿を、読者のみんなにもマネしてほしいなと思います。

悟が使命のためにすべてを捨てたように、僕も「自分の小さな人生を生きるよりも、この映画にすべてをかけよう。」と思った時に、悟に少し近づけたように感じました。悟を通して、使命をつらめく力強い生き方を学びました。この映画を観た人には「こんな生き方があるんだ!」とおどろいてほしいです。